



WAONAS™
ワオナス

衣料品の廃棄ゼロを目指して

NIKKE。

持続可能な社会の実現に向けて

みんなの和・輪がサステナブルの環を広げます

社会的状況

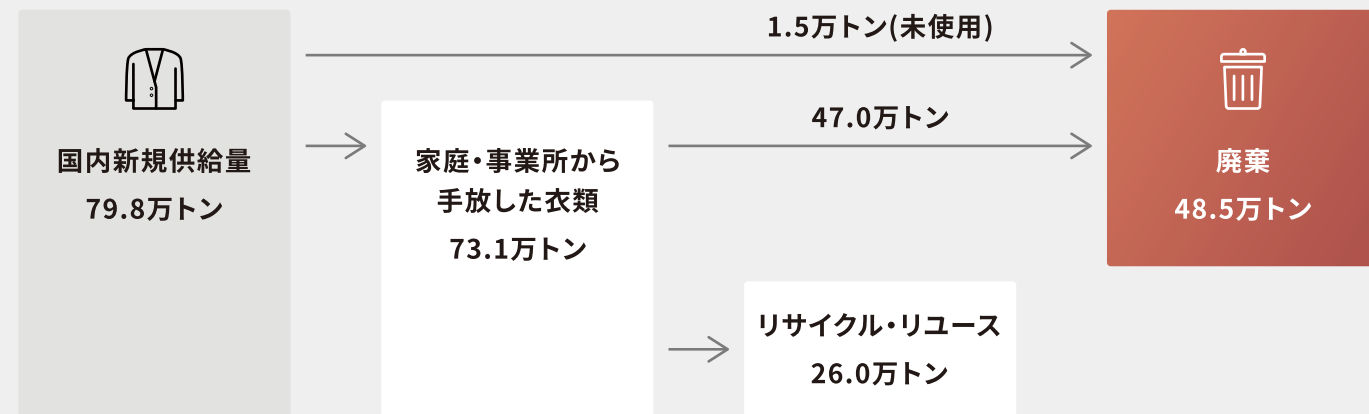
2015年の国連サミットでSDGsが採択され、世界中で持続可能な社会の実現のための取り組みが進展しています。日本政府も「SDGs実施指針」を決定し、様々な政策を進めています。

私たちの足元でも、真夏の猛暑・集中豪雨等気候変動の影響が猛威をふるっています。まさに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの推進は待ったなしの状況になっています。

衣料品の課題と解決

課題

持続可能な社会の実現に向けて、衣料品業界では大量廃棄が最も大きな問題になっています。新規供給衣料品は年間79.8万トン、時間差はありますが約6割に相当する48.5万トンが廃棄されています。



出典：環境省 令和4年度「ファッションと環境」調査結果をもとにニッケ作成

解決 — 衣料品を回収・循環型へ

EUでは2024年7月から「持続可能な製品のためのエコデザイン規則」が施行され、適量生産、リサイクル、回収循環の動きが広まっています。日本では経済産業省・環境省・消費者庁が協力して、衣料品の回収・循環を促進する政策を進めています。ニッケでも、持続可能な社会の実現に向けて衣料品の回収・循環型への転換を推し進めます。

回収・循環の「輪」を広げるために、ニッケでは衣料品回収・循環プロジェクト「WAONAS」を立ち上げます。この活動を実現するためには、アパレル・サプライヤー・ユーザー・回収選別業者・メーカー、皆様の「和」が必要です。

「WAONAS」アライアンスに参加して、サステナブルの「環」を広げる活動にご協力下さい。

- 和** 人々が協力し、持続可能な社会を実現する
- 輪** 回収循環・生産供給のためのパートナーシップを構築する
- 環** 廃棄衣料を減らす活動を通して地球環境保全に貢献する

衣料品回収・循環プロジェクト「WAONAS」

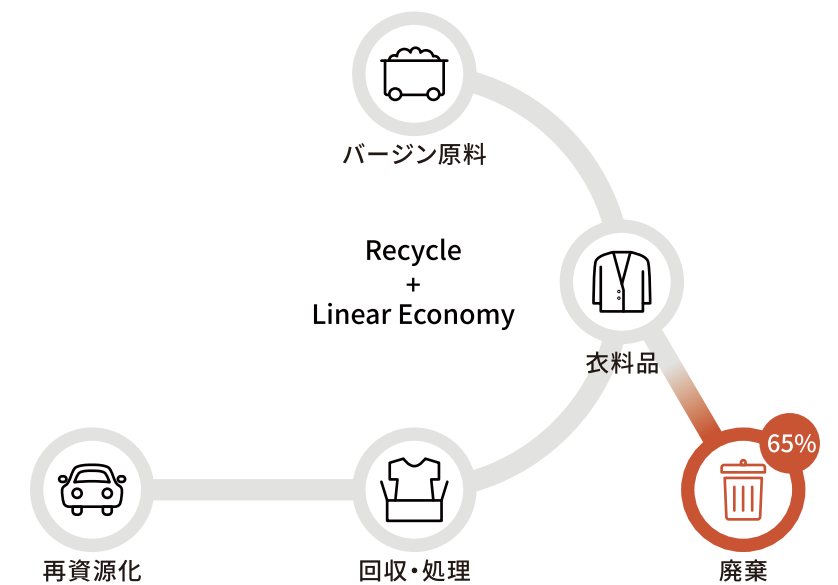
衣料品を回収して再生させる循環型衣料への取り組み

ウールの衣料品は丈夫で製品寿命が長く環境にやさしいものですが、「WAONAS」は回収したウール混の衣料品を原料の状態まで戻し、再び糸から服へと蘇らせる独自技術開発により可能になった日本初の取り組みです。

これまで取り組んできたリサイクルを発展させた「服から服へ」と循環再生させる環境に配慮した新しいプロジェクトです。

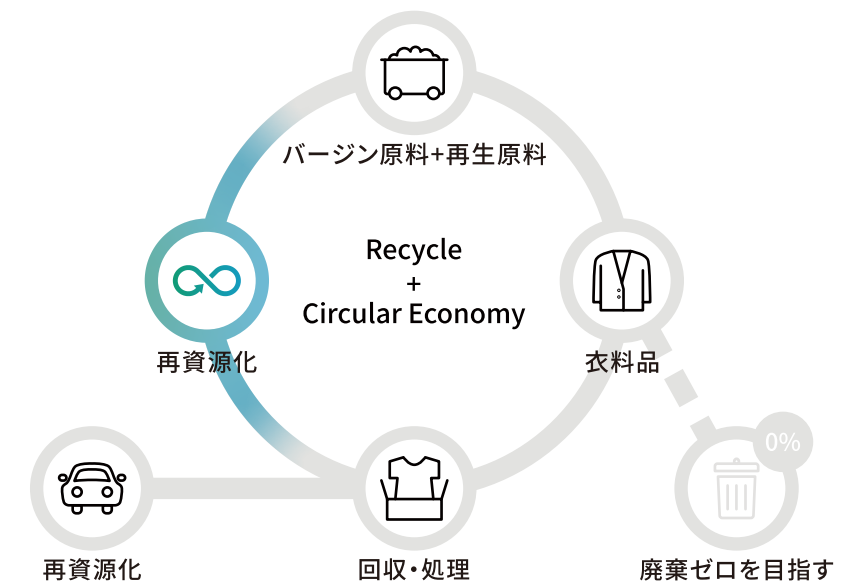
これまで

現状国内で手放された衣料品の65%が廃棄されています。ニッケでは回収・処理した衣料品を再資源化し、自動車用内装素材等に使用することで廃棄を低減する活動を行ってきました。



これから

「服から服へ」蘇らせる循環の流れを新たに構築し、さらなる環境負荷低減を実現します。現在廃棄されている衣料品を回収・処理するルートを増やし、より多くの衣料品を衣料品や産業資材へ再資源化する体制を整え廃棄ゼロを目指します。

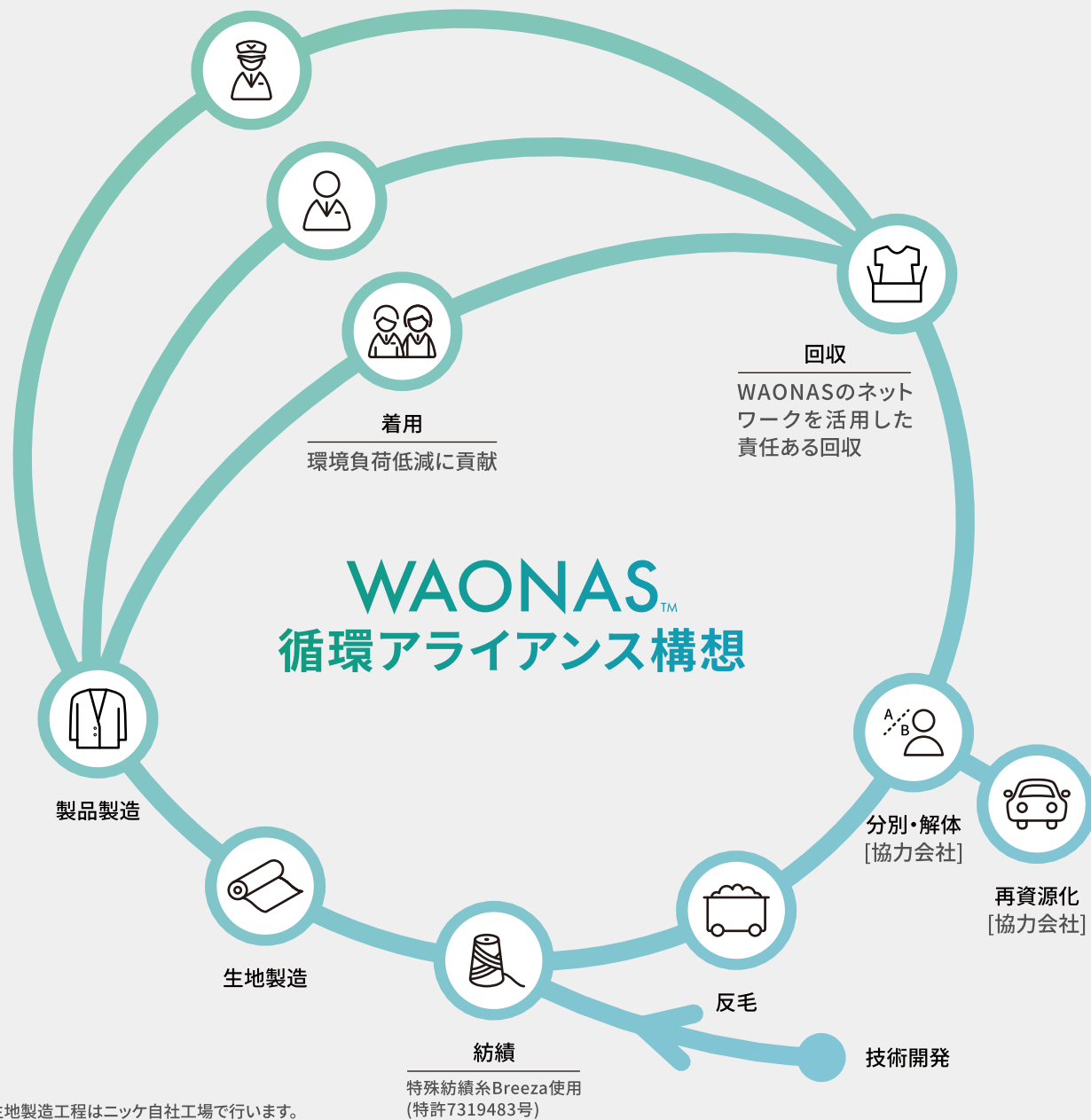


WAONAS™の構想と事例

持続可能な社会の担い手育成と地球環境の負荷低減・再生

VISION 繊維資源の循環利用を通じて
持続可能な社会づくりに貢献する

- MISSION**
- 衣料品の回収スキームの発展
 - 「服から服へ」の循環の推進
 - 新たな再資源化製品の開発



※反毛、紡績、生地製造工程はニッケ自社工場で行います。

構想



— 循環アライアンス構想

メンバー企業様・学校様と流通・製造のグループ各社でアライアンスを結び、衣料品循環の実現を目指すプロジェクトを立ち上げます。

循環アライアンス構想は、メンバーから回収した使用済衣料品を原料として、ふたたび衣料品として再生し循環させる事業構想です。

アライアンスメンバー全体で循環の輪をつくることで、回収量・納期・品質のばらつき等のリスクを分散し、かつ循環型社会の実現に向けた技術を共有し、環境保全活動の推進を目指します。

— 使用済衣料品回収システムの活用による再資源化スキーム構築

SDGsの浸透に先立つこと4半世紀、ニッケグループには1990年代から構築してきた使用済衣料品の回収システムがあります。

循環アライアンス構想では、この回収システムを活用し再資源化のスキームを発展させていきます。回収された衣料品の分別・解体・反毛・紡績・生地製造はニッケグループとメンバー企業様で行い確実に再資源化します。また衣料品に戻せない部位の産業資材への再利用や、ワッペン・ボタン・ファスナー等付属品の処理についても責任を持って実施します。

事例



— 「エコネットワーク」製品回収システム

1998年からニッケ・ダイドーリミテッド・ダイトウボウの3社共同でウールリサイクルシステムを構築してきました。回収対象製品はウール100%及びウールと他繊維の複合素材による衣料製品(メンズスーツ等の一般衣料、スクールユニフォーム、ビジネスユニフォーム)です。すでに大手鉄道をはじめ多くのユーザーにご参加いただき、自動車内装部材等の産業資材の原料として資源の有効活用に役立ててきました。



— 卒業生の制服から新たな制服をつくる「循環型制服の取り組み」

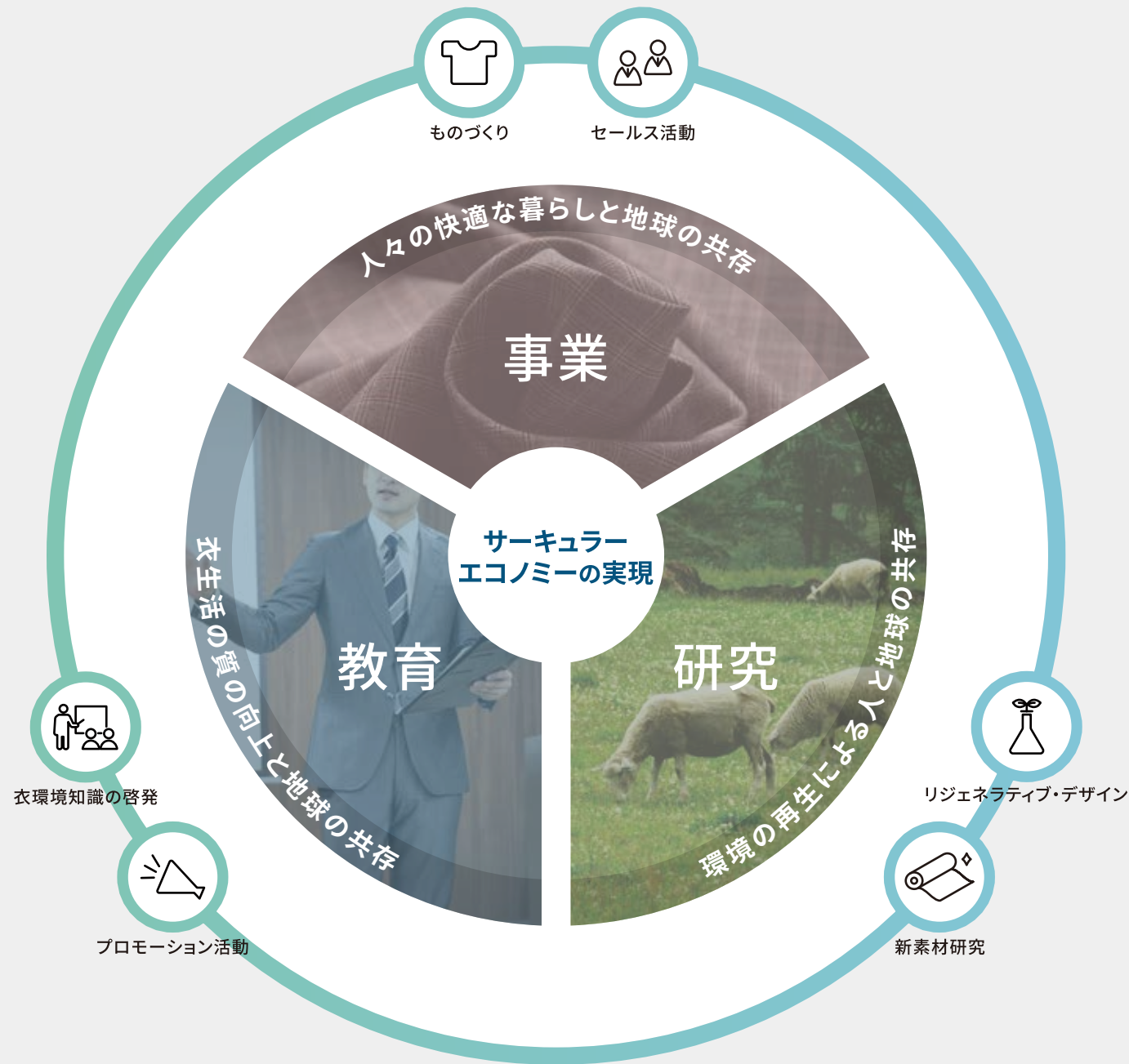
探究・自律学習に力を入れている駒場学園高等学校(東京都世田谷区)とパートナーシップを結び「制服から制服へ」と循環させる実証実験に取り組みました。卒業生から譲り受けた制服を原料の状態にまで戻し、その原料を糸にして新たな生地をつくり新入生の制服へ再生することに成功しました。

卒業生から新入生に制服とともに母校への想いもつなげてほしいという「想いの循環」もかなえた日本初の取り組みです。



未来へ繋げる取り組み

ニッケのサーキュラーエコノミー推進活動



事業

- デジタル化による資源利用の効率化
- 工場エネルギー削減
- 環境配慮型素材の開発・販売
- WAONAS循環型衣料品の取り組み
- リサイクル

研究

- 生分解性実験
- 羊毛を原料とした肥料づくり
- 上記肥料を使用したぶどう育成及びワインづくり
- 環境配慮型化学繊維の探索

教育

- 学校・アパレル等への授業による環境意識の高い人材育成のサポート
- 体験型イベントの実施
- ブログ・SNS等の発信
- メディア発信

リジェネラティブ・デザイン

—ウールの生分解性実験

近年、洗濯等で衣類から脱落した繊維や破片によって発生するマイクロプラスチック海洋汚染が懸念され海水中での生分解性に関心が高まっています。そこで、ウールの海水中での生分解性を調べるために神戸市立栽培漁業センターのご協力を得て実証実験を行いました。ウール・ポリエステル交差糸「NIKKE AXIO®」を使ったTシャツを海水に150日間浸漬させたところ、短期間でウール部分の殆どが生分解されることが確認されました。



リジェネラティブ・デザイン

—羊毛100%の有機質肥料「ラナリン」

神戸市立六甲山牧場の羊の毛刈りで出た利用できない部分を集め羊毛100%の有機質肥料「ラナリン」を製造しています。現在、ニッケがオーナー制度として参画している神戸ワイナリーでは「ラナリン」を施肥してブドウ樹を育て、ニッケの社員が手摘みしたブドウからワインを製造する取り組みも進めています。将来的には、回収した衣服から「ラナリン」の製造を目指しています。



衣環境知識の啓発

—独自の環境教育プログラム「ウールラボ」

「ウールラボ」はニッケが展開する独自の環境教育プログラムです。ニッケ社員が全国の学校や企業へ赴き、繊維の知識や衣服の取り扱い方を教えるというものです。綿・ポリエステル・ウールのそれぞれの特徴や適切なお手入れ方法を実験やクイズを交えて体験的に学ぶことができます。家庭科の学習指導要領に準拠した授業内容が特徴で、地球への思いやりにあふれた人材育成のための活動として日々行っています。



NIKKE
Group

